

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 7月 31日

(宛先)
滋賀県知事 様

提出者
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
タカラバイオ株式会社
代表取締役 仲尾 功一
第25条第3項・第25条第4項
第27条第1項・第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第4項 の規定に基づき、事業者行動計画を 策定 (変更) 事業者行動報告書を作成 したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	タカラバイオ株式会社
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県草津市野路東七丁目4番38号

1 事業所の概要

事業所の名称	タカラバイオ株式会社					
事業所の所在地	滋賀県草津市野路東七丁目4番38号					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	6	5	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 医薬品原薬製造業
事業の概要	研究用試薬及び対外診断薬/細胞加工受託 製造など					
従業員の数	830	人	作業時間	8.5 (9:00~17:30)	時間/日	
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	☒ 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	17	台	熱源設備	30	台
	コンプレッサ	6	台	空気調和設備	250	台
				照明設備	6500	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	2024	年度	報告対象年度	年度
	終了 年度	2026	年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

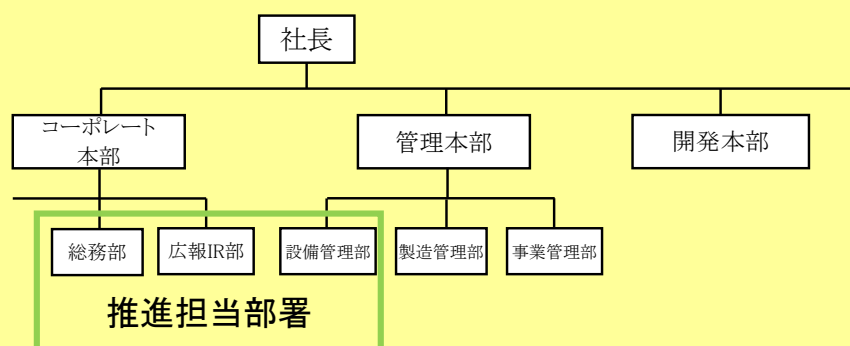
1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

タカラバイオグループは、地球環境の保全と事業活動の調和を経営の重要課題の一つとし、環境マネジメントシステムを構築して継続的な改善に取り組み、持続可能な社会づくりに貢献します。

1. 環境に関する法令及び組織が同意するその他の要求事項を遵守します。
2. タカラバイオグループが行う事業活動の中、以下の項目について重点的に取り組みます。
 - ① 環境汚染の予防に努めます。
 - ② 省エネ・省資源を推進し、持続可能な資源の利用に努めます。
 - ③ 温室効果ガスの排出量を削減し、気候変動の緩和に努めます。
 - ④ 生物多様性や生態系の保護・保全に係る活動を推進、支援します。
 - ⑤ 水使用量の削減ならびに、廃棄物の発生抑制および再資源化を推進し、循環型社会の実現に貢献します。
3. 環境活動への取り組みや環境パフォーマンス情報を積極的に開示し、社会とのコミュニケーションに努めます。
4. 本環境方針は、教育啓発活動の通じてタカラバイオグループの全構成員に周知するとともに、社員の社会貢献且活動への参加を積極的に支援します。

2 取組の推進体制

タカラバイオ(株)組織図(抜粋)

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・コージェネレーション(発電供給)システムの導入による排熱利用
- ・外壁、窓の高断熱化による空調負荷の軽減
- ・高効率の変圧器採用
- ・ビルエネルギー管理システムによるエネルギー使用量の可視化
- ・太陽光パネルの設置
- ・社用車入替え時のハイブリッド車の採用

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	ポット改善	ジェネリック設備増設によるコージェネシステムの廃温水の有効利用	2021年～	
2	ポット改善	再生可能エネルギー(太陽光発電など)の導入を検討	2023年～	
3	設備導入	一般空調及び特殊空調機器更新時に高効率機器を導入	随時	
4	設備導入	社用車の更新時にハイブリッド車及びEV車導入を検討	随時	
5	運用改善	節電に対する社員の意識向上へ向けての周知徹底と照明、空調のタイマー制御	随時	

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	HFCs	老朽化したフリーザー更新時に高効率機器やノンフロン機器の選定。フリーザーの適正廃棄	随時	
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
目標：原単位(延床面積×従業員数)に対するエネルギー使用量の前年比1%削減。 目標設定の考え方：省エネ法の目標設定に準じる。	

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2024)年度	(2025)年度	(2026)年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	5,684					
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	10,230					
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	10,230					
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		0.198					

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	新築工場に太陽光発電設備の増設を検討	～2026年	
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	2025年度の売上高当たりのCO2排出量(原単位)について、再生可能エネルギー等の効率的な利用により、基準年(2018年度)比50%削減する。
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	10	kW	水力・小水力		kW	地熱		kW
太陽熱		kW	バイオマス		kW	その他 ()		kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績								

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2024)年度	(2025)年度	(2026)年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	1,500					
上記のうち自家消費量	kWh	1,500					

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2024)年度	(2025)年度	(2026)年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂						
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂						
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh						
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2024)年度	(2025)年度	(2026)年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

		計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			(2024)年度	(2025)年度	(2026)年度	()年度	()年度
保有車輛の数	台	8					
上記のうち 次世代自動車等の 数	台	4					
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1				
2				
3				
4				
5				